

# CITY OF NAGASAKI

ワールドハーモニー・ラン2008実行委員長

桃原 敏治 様

「ワールドハーモニー・ラン2008」の開催されるにあたり、長崎市民を代表してご挨拶申し上げます。

世界の調和をつうじて真の平和を目指すというシュリチンモイの理念のもと、国際的なマラソン聖火リレーが開催されてから、今年で22年を迎えます。この間、何百人もの世界の市民ランナーや支援ボランティアの方々が心を一つにして、粘り強く活動してこられましたことに心から敬意を表します。

今年は、聖火リレーに加え、市民ランナーの方々が走行ルート近くの小学校やクラブ、施設などを訪問し、子ども達とふれあう「ハーモニープログラム」を計画しておられるとお伺いしました。ランナーの方々と楽しい交流の中で、子ども達が平和を身近に感じ、一人ひとりに何ができるか考えるきっかけにしてくださることを願っております。

63年前、被爆の悲惨な体験をした長崎市民は、非人道的な結果をもたらす核兵器の廃絶と世界平和の実現を訴えてきました。核兵器のない未来の実現には、平和を願う人達の連帯が必要であり、今回マラソンに参加しておられる皆さんも核兵器廃絶への思いを深めてくださることを期待しております。

最後、「ワールドハーモニー・ラン2008」のご成功と、桃原敏治実行委員長はじめ実行委員の皆様と、すべての市民ランナー及びスタッフの方々のご活躍を祈念して、お祝いのメッセージといたします。

長崎市長 田上 富久